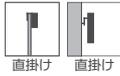


グリーンポットの壁取り付けについて

商品の標準仕様

取付金具(付属)を使って取り付けることができます。 ※商品によって異なる場合があります。詳しくはお問い合わせください。



壁に付属の壁金具を取り付け、ポットを引掛けてセットします。



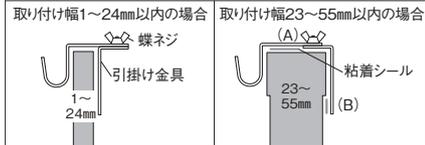
平らな場所に置いて使います。



吊り下げて使います。

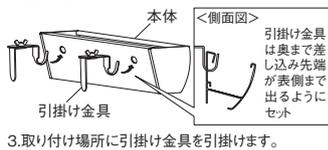
GR114 GR115

1. 引掛け金具を取り付け幅に合わせて蝶ネジをしっかりと締め、引掛け金具が広がらないようにしてください。

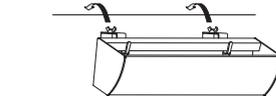


付属の粘着シールは、取り付け幅が35mm以上の場合は(A)部分に貼り付けてください。また、取り付け場所の板が段違いになっている場合は(B)部分にも貼り付けてください。ぶれ防止になります。

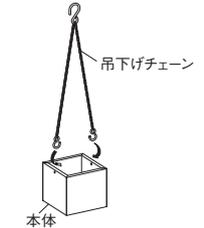
(GR114) 2. 引掛け金具をはずし、本体の穴に引掛けます。



3. 取り付け場所に引掛け金具を引掛けます。



(GR115) 2. 本体の穴に吊下げチェーンを引掛けます。

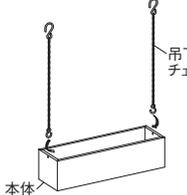


3. 引掛け金具に吊下げチェーンを引掛けます。



GR116 GR117

1. 本体の穴に吊下げチェーンを引掛けます。

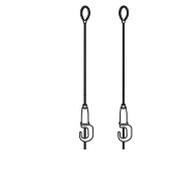


2. フック等に吊下げチェーンを引掛けます。

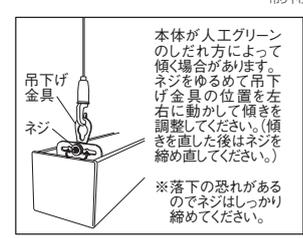
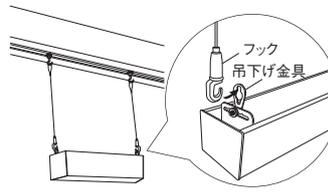


GR118

1. ワイヤーの長さを調節し、2本を同じ長さに揃えます。



2. ポットの両端にある吊下げ金具にフックを引掛けて吊り下げます。



GR120 【壁面に直掛ける場合】



ガイド用紙のフックの形に合わせ、①短ピン穴に短ピンを通し、壁に垂直に打ち込みます。



②ガイド用紙を下に引きちぎってははずします。(ガイド用紙をはずす際は壁紙を傷つけないように注意し、フックと壁の間にガイド用紙が残らないようにしてください。)

③長ピン穴に長ピンを打ち込んで取り付けます。

【卓上に置く場合】



平らな場所に設置してください。(直掛け用のフックは本体下部のネジをドライバーではずして本体に収納できます。)

グリーンスタンドの設置について

- グリーンスタンド商品の設置は、通常置くだけでお使いいただけます。
- 床面にしっかり固定できる商品で施工業者様にて、スタンド本体等に穴加工を行う商品もありますので注意事項とともに、ご説明いたします。

設置に際して

- グリーンスタンド、床面固定用のアンカーボルト、ビスは床面の材質(木材、モルタル、コンクリート等)によって最適な物とサイズを選定ください。
- グリーンスタンドをしっかり、アンカーボルト、ビス等で設置固定する場合は、安全のため専門知識のある業者様にて行ってください。

全取り付け共通の注意事項

〈不用意・不適切な取り付けは事故につながる恐れがあります〉

- 工具等の取り扱いには充分ご注意ください。
- ブラスドライバーの先端十字は、ネジの十字と合ったものをご使用ください。
- 取り付けの際は、製品部材・部品の角でのケガや、床・壁など、室内を傷つけないようご注意ください。
- 取り付けの際は、お子さまに注意し広い場所で2人以上でおこなってください。
- 取付手順に従って部材の取り付け、ネジ締めなどを確実にこなしてください。取付手順が違くと取り付けられない場合があります。また、部材の取り付け、ネジ締めなどが不十分ですと使用中に製品が破損しケガをする恐れがあります。

●取り付けに必要な工具です。ご用意ください。



●ブラスドライバー

電動工具を使用する場合の注意

電動ドライバーは締め付けトルクを強く設定し、様子を見ながら調節してご使用ください。インパクトドライバーは部品や部材を破壊する恐れがありますので使用しないでください。



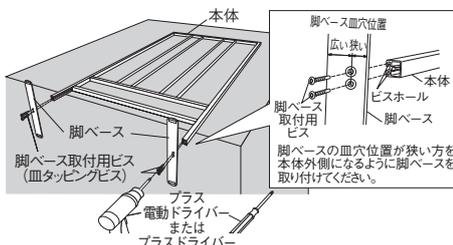
電動ドライバー



インパクトドライバー

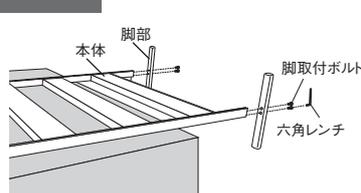
GR121

△注意
組立を行う際は、必ず下にダンボールや毛布を敷いてください。本体、机や台などが傷つく恐れがあります。



本体底面のビスホールに脚ベースの皿穴を合わせて、脚ベース取付用ビス(皿タッピングビス)でしっかりと締めて固定します。

GR122



本体下部の脚取付ボルトを六角レンチを使って取りはずし、本体と脚部を脚取付ボルトで固定します。

△注意
組立を行う際は、必ず下にダンボールや毛布を敷いてください。本体、机や台などが傷つく恐れがあります。
ビス(ボルト)が傾いた状態で、工具を使い無理に締め込むとネジ山を破壊させる場合があります。
確実に取り付けするため、工具でビス(ボルト)を全て仮止めたあとしっかりと締め込んでください。